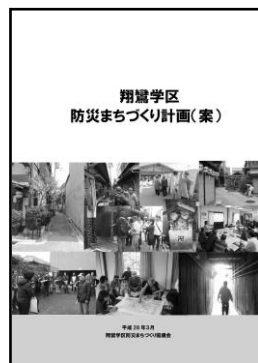


◆翔鷲学区防災まちづくり計画の検討を進めています！

現在、協議会では、町内会長アンケート調査やブロック別に開催した「まちとすまいの安全点検」でのワークショップなど、これまでに皆様からいただいたご意見をもとに、災害に強く、暮らしやすいまちをつくるため、まちの将来像や今後の防災まちづくりの取組をまとめた「翔鷲学区防災まちづくり計画」の策定をめざし、検討を進めています。

今後、策定した防災まちづくり計画の内容は、本ニュース等を通じてお知らせいたします。



◆「防災まちづくり計画」策定に向けた意見交換会を開催しました！



計画案の説明



テーブル毎の意見交換



意見発表

2月19日（金）に、各町内の防災部長の皆様にお集まりいただき、防災まちづくり計画策定に向けた意見交換会を開催しました。計画案の説明後、ブロック別に分かれ、防災まちづくりの目標・基本方針や、それに基づく具体的な取組について意見をいただきました。

いただいた様々なご意見は、計画に反映させ、さらに充実した内容になるよう協議会で検討していきます。

《意見交換会での主なご意見》

- これまでに様々な意見が出され、計画がまとまりつつある。
あとは、計画を実行していくことが大切。
- 計画を実現させるプログラムが大切。
- 災害が起きてからでは遅いので、備えが大切。
- みんなで取り組むことが大事なので、防災まちづくりのPRが必要。
- 防災に関する支援制度の周知が必要。
- 借地や借家が多い。学区外の所有者をどう動かすかを考えなくては。
- 道に植木鉢が置かれている場所がある。整理して広く使うべき。

等

ご出席いただきました皆様、ありがとうございました！！

◆まちの安全性が着実に向上しています！

これまでにまちあるき等で確認した、防災上課題がある場所について、京都市の助成制度を活用しながら、まちの安全を高める取組を着実に進めています。

今後も、みなさんと協力しながら、災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。

防災ひろばの整備！（滝ヶ鼻町）



空き地となっている空間を活用し、防災広場を整備することで、災害時の一時避難や火災の延焼防止等に役立つオープンスペースが確保できました。

緊急避難扉の設置！（佐竹町）



袋路は、災害時に袋路入口部分等の建物が倒壊するなどして、逃げ道を失うおそれがあります。

そのため、袋路の奥に避難扉を設置することで、災害時の避難経路が確保できました。

古いブロック塀をつくり替え！（観音寺門前町）



地震時等に古いブロック塀が倒壊すると、人がけがをしたり、逃げ道が塞がれるおそれがあります。地震時でも倒れにくい塀につくり替えることで、まちの安全性が高まりました。

～ 今すぐに取り組む対策に取り組みましょう！ ～

空き地を防災ひろばとして活用したり、緊急避難扉の設置や古いブロック塀のつくり替えなど、すぐに取り組む対策に取り組み、ひとつひとつまちを安全にしていきましょう！この他にも、様々な助成制度があります。助成制度についての問合せは以下の連絡先までご連絡ください。

防災ひろばの整備！



ひろばの整備費
上限200万円

緊急避難扉の設置！



古いブロック塀をつくり替え！



※市の助成制度には対象条件があります。(問合せ先:京都市 まち再生・創造推進室 Tel075-222-3503)